

比較文学研究室主催 月例研究発表会



2012年10月25日(木)

戸山キャンパス 39号館第7会議室

10月25日(木)午後3時から、戸山キャンパス39号館第7会議室において、総合人文科学研究センター早稲田大学比較文学研究室主催の月例研究発表会が開催された。本発表会は、比較文学研究室の

研究者間の交流を目的に開催されており、今回で第215回を迎えた。当日は丹尾安典教授(文学学院)による「ポン・タヴェン派残党遺聞」、中島国彦教授(文学学院)による「1910年前後の文学・美術・音楽の交響—木下杢太郎『南蛮寺門前』を手がかりに一」についてそれぞれ発表が行われた。発表後の質疑応答では、様々な専門領域の研究者らによる意見交換が行われ、活発な議論となった。

(報告 塩野加織)